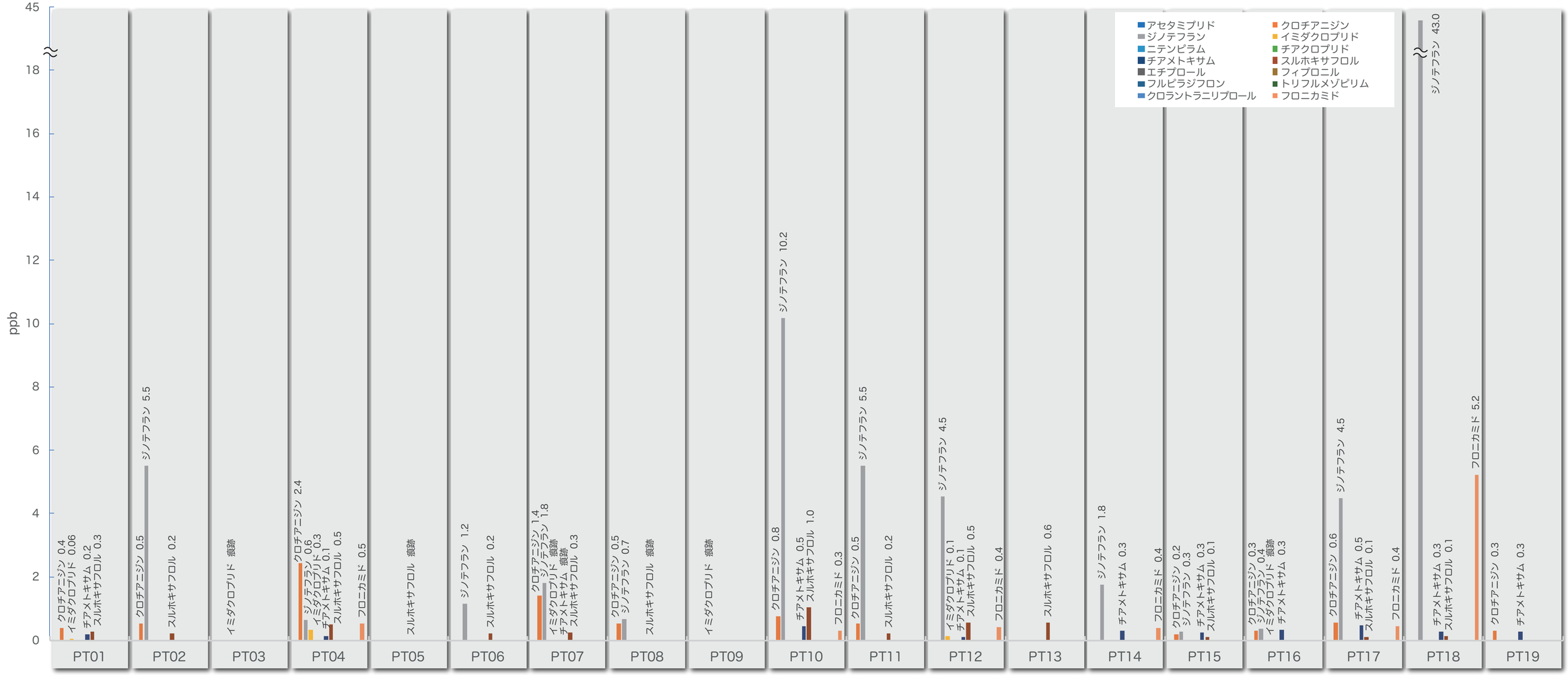
図　一般向けに公募したプレテスター 19 名の尿中ネオニコチノイド系農薬などの検出結果

2022 年 1 月 21 日版（未リリース版）
2021 年 農民連食品分析センター調査



プレテスターの食・住環境などの概要について

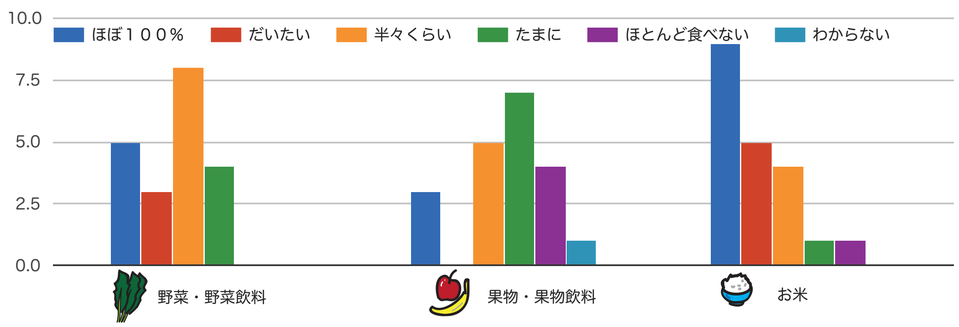
2021 年 9 月 10 日から 9 月 20 日にかけて、一般参加を募り、応募いただいた方から 19 名を無作為に選出、分析センター指定の採尿キットで採取された尿について、LC-MS/MS 法で試験をした結果です。検査対象とした農薬は、アセタミプリド、クロチアニジン、ジノテフラン、イミダクロプリド、ニテンピラム、チアクロプリド、チアメトキサム、スルホキサフロル、トリフルメゾピリム、クロラントラニリプロール、エチプロール、フィプロニル、フロニカミド、フルピラジフロンの 14 成分です。

参加者の食や住環境については、Google form で回答を得ました。参加者の年齢は 1 歳から 72 歳。平均年齢は 50.7 歳（中央値 53.5 歳）となっています。自身または家庭で殺虫剤を使用しているかについては、75% が「使用していない」と回答。農地の近くに住んでいるかという質問には、55% が「住んでいる」と回答。回答した人のうち 90.9% が野菜（畑作）に、54% が米（稲作）と回答。

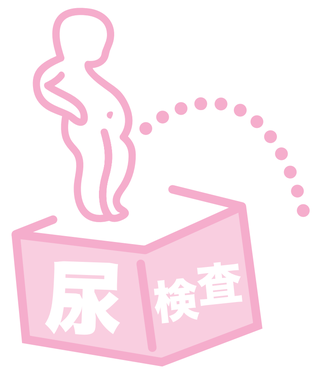
使用する食材についての回答を見ると、オープンな条件で募集をしましたが、食に関心があり、食材に意識を持って暮らしていると考えられる人の参加が多いようです。

無農薬や有機栽培の食材の取り入れ状況

Q　食べている野菜・果物・お米が無農薬または有機である割合をお答えください



食事に使用する「野菜や野菜飲料」の半分以上が有機や無農薬栽培である人の割合は、78.9%。
食事に使用する「米」の半分以上が有機や無農薬栽培である人の割合は、89.5%。
食事に使用する「果物や果物飲料」の半分以上が有機や無農薬栽培である人の割合は 73.7%。



プレテスター 19 名の尿中ネオニコチノイド系農薬検査結果

-2021 年 1st-